### 事務事業評価シート (評価実施年度: 平成27年度)

上位の施策名称 施策Ⅱ−2−1 健康づくりの推進

1	.事務事業の目的	• 概要	事務事業担当課長	健康推進課長	知念	希和	電話番号	0852-22-5248
	事務事業の名称	80歳20本の歯	推進事業					
目	(1) 対象	県民						
的	(2)意図	8020(80歳で204	以上の歯を残す)を達成す	する				
	①歯科保健定着促進事業 (県民の奥歯を守り、8020を早期に達成するとともに、生涯を通じて咬む機能の保持増進を図る) (②歯科保健推進事業 (名圏域で島根県歯と口腔の健康づくり計画の推進のだめの歯科保健対策を検討し、市町村事業の助言・支援を強化する) (③口腔機能維持管理研修事業 (口腔機能の維持向上に関連する各種所修の実施や、介護予防と歯と口腔の健康づくりが連携した取組の検討を行う) (④報とそのよい神のコンクール、前任度3歳児母科健診を受けた児と保護者のうち、口腔の以戦能の自好な者を診査・表彰し、県民の歯と口腔の健康づくり					祖の検討を行う)		

#### 2.成果参考指標

	指標名	6〇歳一人平均現在歯数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
(1)			目標値		23.00	23.00	23.00	23.00	本
成		島根県歯と口腔の健康づくり計画の目標(平成28年度23本) 達成に向けた経過値	実績値	22.20	23.60	23.10	23.94		4
果			達成率		102.60	100.40	104.10		%
参	§ 指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
考指			目標値		0.00	0.00			
標	式•		実績値	0.00	0.00	0.00			
	定義		達成率		0.00	0.00			%

#### 3.事業費

<u>り、</u> 尹未貝						
	26年度実績	27年度計画				
事業費(b)(千円)	4,708	6,861				
うち一般財源(千円)	902	1,600				

関心を高める)

# 4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた 改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
-------------------------	------------------------

#### 5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・各種イベント等におけるカミング30セルフチェックシートを活用した啓発者数 478名 ・事業所事業主等を対象にした研修会等における歯周病唾液検査の体験実施者数 170名
- ・親と子のよい歯のコンクールの参加者数 50名(市町村からの地区大会への推進親子数)→7名(県大会出場親子数)
- 8020よい歯のコンクールの参加者数 128名

# フ まだ硅っている理題(

#### 6.成果があったこと(改善されたこと)

歯の喪失の原因となる歯周病を効率よく発見するための「歯周病唾液検査」は、平成26年度新たに事業所事業 主等を対象とた研修会でも実施し、働き盛り世代への普 及啓発を行うことができた。

# 7.まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

40歳未満でも歯周疾患兆候(歯周ボケットあり:CPI3·4)が20%弱あり、40歳代で40%を超え急増する。

#### ②困っている状況が発生している「原因」

働き盛り世代の歯と口腔の健康づくりへの関心が低い。 歯周疾患についての知識不足や歯周疾患に気づかないことが多い。 歯科健診の習慣が定着していない。

# ③原因を解消するための「課題」

様々な機会を捉えて、働き盛り世代の歯と口腔の健康づくりへの関心を高める事が課題。 協会けんぽと連携した歯と口腔の健康づくりの普及啓発が課題。 市町村で実施している、様々な機会を捉えた歯科健診への受診促進が課題。

# 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

○事業所や各種イベント等にて、歯周病唾液検査やカミング30セルフチェックシートを活用し、歯と口腔の健康づくりへの関心を高める。そして、歯科健診を受診してもらい、歯周病の早期発、早期治療につなげる。 ○県民残存歯調査を実施し、県民の歯と口腔の健康実態を明らかにし、歯科保健対策に活かす。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

#### 9. 追加評価(任意記載)